

2022年度 市立函館高等学校 シラバス

教科	科目	単位数	年次・コース	教科担任							
国語	古典B (文系古典B(後半))	3	3年次(文系)	高市道弘・佐々木千春							
使用教科書	精選古典B古文編・精選古典B漢文編(教育出版)		使用副教材	精選古典B(古文編・漢文編)学習課題ノート(教育出版) 改訂版 出る順に学ぶ頻出単語400(Z会)							
科目の目標				道徳教育のねらい							
国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。				人間と人間との関係の中で、互いの立場や考え方を尊重し合えるような、道徳的心情や道徳的判断力を養う。							
市函DP(本校で身に付けさせたい10の資質・能力)											
学習活動内容		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
		基礎力	思考力	主体的 学習力	傾聴力	自己理解・ 自己管理能力	他者 理解力	計画 実行力	発信・ 表現力	ストレス コントロール力	実践力
1	古文 説話	○		○							
2	古文 随筆	○		○							
3	古文 物語	○		○							
4	古文 日記	○		○				○			
5	古文 軍記	○		○	○						
6	古文 和歌	○		○			○				
7	古文 評論	○	○	○							
8	古文 文法	○		○				○		○	
9	古文 文学史	○		○				○			
10	漢文 小話	○		○						○	
11	漢文 史伝	○		○							
12	漢文 小説	○	○	○			○				
13	漢文 思想	○		○		◎	○			○	
14	漢文 文章	○		○							
15	漢文 漢詩	○		○	○		○				
16	漢文 句法	○		○				○		○	
17	漢文 重要語	○		○				○			
評価の観点	関心・意欲・態度	話す・聞く能力			書く能力			読む能力		知識・理解	
	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて効果的に話し、また、的確に聞き取ったり話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。			相手や目的、意図に応じた適切な文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。			文章を的確に読み取ったり目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。		伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。	
評価の方法	次の資料をもとに観点別評価によって総合的に評価する。										
		活動の観察① (授業に対する取り組みの姿勢全般)	活動の観察② (グループ学習時の発表内容や人の意見を聞く態度)	記述の確認及び分析 (ノート、ワークシート、原稿用紙等)	定期考査に対する取り組み姿勢と結果	小テストや課題確認テストに対する取り組み姿勢と結果	週末課題や長期休業中の課題に対する取り組み姿勢と結果				
	関心・意欲・態度	◎	○		○	○	○				
	話す・聞く能力		◎								
	書く能力			◎							
読む能力				◎							
知識・理解					◎	◎	◎				

授業計画

授 業 計 画					実 施 状 況	
月 (時 数)	単元・考査等 (配当時数)	学習のねらい	学習内容 (配当時間)	単元 実施 時数	実施反省	
前 期	4月 古文 『枕草子』を読む (10)	・助動詞、助詞や敬語について復習しながら内容を理解し、文章を読み味わう。 ・当時の宮廷の生活や文化について知り、他の文章を読む際の参考とする。	『枕草子』 宮に初めて参りたる頃(6) 御方々、君達、上人など(2) 無名といふ琵琶の御琴を(2)			
	5月 漢文 逸話(6)	・句法や助字に注意しながら読み、展開や内容を正しく把握する。 ・比喩の対象を正しく把握し、登場人物の論理の工夫を読み取る。	糟糠之妻〔後漢書〕(2) 長安何如日遠〔世説新語〕(2) 三横〔世説新語〕(2)			
	◎前期中間考査(1)					
	6月 古文 『源氏物語』を読む (11)	・助動詞、助詞や敬語法について復習しながら内容を理解し、文章を読み味わう。 ・当時の宮廷の生活や文化も踏まえて登場人物の状況や心理を読み取る。	『源氏物語』藤壺の宮の入内(6) 夕顔の死(5)			
	7月 漢文 史話(5)	・句法や助字に注意しながら読み、展開や内容を正しく把握する。 ・史伝における登場人物の描かれ方に着目し、文章を読み味わう。	鼓腹撃壤〔十八史略〕(3) 伯夷・叔齊〔史記〕(2)			
期	8月 古文 『日記』を読む(8)	・既習の文法事項や知識を活用して文脈を掴み、内容を理解する。 ・日記の展開や人間関係を把握し、心情がどのように表現されているか読み取る。	『蜻蛉日記』嘆きつつ(4) 『紫式部日記』若宮誕生(4)			
	◎前期期末考査(1)					
	9月 古文 『大鏡』を読む(8)	・既習の文法事項や知識を活用し、敬語法に留意して文脈を掴み、内容を理解する。 ・物語の時代背景、人間関係、当時の社会、文化についての理解を深める。	『大鏡』道真左遷(3) 師輔の夢(3) 中宮安子の嫉妬(2)			
後 期	10月 漢文 史記(12)	・訓読の決まりに従って正確に本文を読み、全体の内容を把握する。 ・登場人物の心理や性格についてそれぞれの言動から読み取り、『史記』の文章表現を読み味わう。	『史記』完璧帰趙(4) 灑池之会(4) 勿頭之交(4)		※後期より、演習を随時行うため、学習内容を多少変更することもあり得る。	
	11月 古文 評論を読む(12)	・既習の文法事項や知識を活用して文脈を掴み、内容を理解する。 ・それぞれの評論の構成や展開を把握し、筆者の考えに対して自分なりの意見を持つ。	『古今和歌集仮名序』やまと歌(3) 『俊頼髓脳』歌の、八つの病の中に(3) 『無名抄』俊成自讃歌のこと(3) 『毎月抄』心と言葉(3) など			
	◎後期中間考査(1)					
	12月 漢文 思想(4)	・訓読の決まりに従って正確に本文を読み、論法や比喩内容、時代背景も踏まえそれぞれの文の主張を把握する。	『孟子』『荀子』『老子』『莊子』 『墨子』『韓非子』(4)			
期	古文 『日記』を読む(6)	・既習の文法事項や知識を活用して文脈を掴み、内容を理解する。 ・当時の社会のあり方も踏まえ、筆者の立場や心情を読み取る。	『和泉式部日記』師の宮からの便り(3) 『讃岐典侍日記』しるしの箱(3)			
	1月 漢文 漢詩(3) 漢文 文(2)	・詩に表現されている情景や心情、表現の特色を理解し、作品を鑑賞する。 ・訓読の決まりに従って正確に本文を読み、筆者の主張を読み取る。	月下独酌・石壕吏(3) 『売油翁』歐陽脩(2)			